

編集・発行
 (株)農林中金総合研究所基礎研究部
 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-8-3
 TEL. 03-3243-7331
 FAX. 03-3246-1984
 E-mail : kaneko@nochuri.co.jp

調査と情報

グローバルスタンダードの浸透、資本の国境を越えた急激な移動が国家機能の衰退を演出している。特に資本の移動は、そのスピードと規模の両面で国民の金融、財政機能を弱体化させ、政府の経済的役割を縮小させている。また、多国籍企業は、国境を超えた最適立地を展開しており、企業の利害関係は国境を遙かに超えている。

他方、これまでの大量生産・大量消費を基礎としたフォーティズムにかわる経済システムとして、北・中部イタリアの各都市やシリコンバレーにみられる地域産業集積が注目されており、地域における立地という問題が改めて脚光を浴びている。また、多様化する住民のニーズに的確に対応できるのは、規模の大きい中央政府ではなく地方政府であると認識が急速

グローバル化における地域の新しい役割

に浸透している。事実、セクター論として、「第三の道」が注目されているが、その眼目は地域への権限委譲を前提とした中央政府と地方政府間の責任及び権限の組み替えと役割区分の明確化で、福祉はまさにその格好の事例であろう。

それでは、地域という皮袋にどのような新しいお酒を入れることができるのだろうか。市場の取引には様々な不確実性が存在し、その対策のために膨大なコストが発生する。政府の事業については、腐敗や汚職、官僚機構の非効率性と住民無視といった不可逆的なコストが生じる。それらのコストを減らし、かつ住民の多様なニーズを満たす

には信頼の醸成が求められる。ゲーム理論に関する実験でも証明されているように、人間は自己の利益のみを追求する経済合理的存在だけではなく、他人に対する共感や信頼をも合わせ持っている。要は、個々が持つ共感や信頼の部分を強化して、囚人のジレンマの解決を地域やコミュニティという枠内で可能にすることである。しかも、それを古い共同体的制裁で行うのではなく、信頼醸成という新しい形で行うことが肝要である。

その具体的方策のひとつが、情報公開の徹底等行政の民主的制度改革と住民のイニシアティブを發揮させるための仕組みや工夫の導入である。後

者については、旧来の自治組織や各種組織だけではなく、多様化する住民のニーズを汲み上げるために、NPOや協同組合を含む新しい組織、グループの活躍が期待される。回路数が増加すれば、住民参加の機会が増え、それが情報の増加と信頼醸成につながる予感される。イタリアやシリコンバレーの例をみて、経済的成功には様々な組織によって構成されている信頼醸成装置としての「コミュニティ」の貢献がある。

最後に、以上のような枠組みが、経済分野だけではなく遺伝子組み換えを含む食品の安全性や環境問題など住民を取り巻く諸問題に対する住民側の積極的な対応手段となり、最終的に持続可能な地域社会の建設につながることを期待したい。

(副主任研究員 大江 徹男)

今月のテーマ：遺伝子組み換えと農業・食

グローバル化における地域の新しい役割……1
 遺伝子組み換え食品の課題と方向……2
 遺伝子組み換え食品問題の構図……3~4
 遺伝子組み換え作物等の現状と動向……5~6
 生産・加工・消費の連携で食の安全と農業を守る……7~8

ぶっくレビュー『遺伝子組み換え作物と環境への危機』…9
 あげみち……10
 虹のかけ橋……11
 統計の眼「スギ生産における林業所得の推移」…12
 編集後記……12